

ボラまち

18

MAY 2023



中央区ボランティア・市民活動センターだより

ボランティア交流会を開催しました！

コロナ禍で活動の場を失ってしまった人、活動をしたことが無い人などそれぞれの立場でボランティアについて見つめなおそうと、3月20日（月）新潟ユニソンプラザにて中央区登録ボランティア交流会を開催しました。参加者は36名で、様々な立場の方々にご参加いただきました。

活動発表では「おもちゃ病院にいがた」の大沢博雄さん、「にいがたし元気力アップ・サポーター」の長谷川裕一さんからご報告をいただきました。

また、講話「これからのあなたにとってのボランティア」と全体進行を元新潟市ボランティアセンター所長の高橋桂子さんからお願いいただきました。



ボランティアと受け入れ施設、それぞれの想い

当日活動発表をしていただいた長谷川裕一さんが活動している施設である、「介護老人保健施設入舟」の活動の様子をお聞きしました。

「そんな特別なことはしていませんよ」と、ボランティア受け入れ担当の阿部浩典事務長は笑顔で遠慮気味に話してくれました。

この施設がボランティアを受け入れ始めたのが15年くらい前、「地域に根差した施設を」という理念のもと傾聴ボランティアから受け入れをはじめ、その後コロナ禍前までは、様々なボランティアを受け入れていきました。長谷川さんがこの施設を訪れたのが



12年前で、ボランティア受け入れ体制が軌道にのった頃でした。コロナ禍での数年を除いてほぼ毎日活動をされていたそうです。「長谷川さんはボランティアという存在ではなく、もう

居て当たり前の存在なんですよ。職員もそう感じています。」と阿部事務長は教えてくれました。

活動内容は、施設職員のニーズをもとに長谷川さんとひとつひとつ相談しながら確認しあい、今のような様々な活動を担うという形になっていきました。「押しつけにならないように、来て下さるボランティアさんにはその人なりの想いがあるんだと思いますし、活動を通じてやりがいを見つけ出したい方もいれば、人と関わりたくないという方もいて、ただ単純に何かやってみますかではなく、その人のやってみたいことと、こちらの想いをゆっくりとで良いので話し合って、確認しながらやっていくことで、色んなカタチが生まれてくるんだと思います。」と話してくれました。

現在コロナ禍でボランティアをお休みしている方々にも定期的に電話をされており、ボランティアに関することにはあえてふれず、体調のことなど世間話をしてつながりを持っています。

長谷川さんは「ここでの活動は私の日常生活、生活の一部。勝手なことを言ってすみません。活動をしているとすごく体調がよいんです。」とお話してくださいました。もう長谷川さんのライフワークになっているんですね。ボランティアを受け入れるにあたり大切なことを再確認したような時間でした。

新潟医療福祉カレッジ イフ食道

レシピ紹介

-Vol.1-

皆さんははじめまして！イフ食道（食の道）です。

皆さんの日頃の食事に、少しでも新たな美味しさを届けられるように活動をしています！

今回は「春野菜の卵の花」のレシピを紹介します！簡単で気軽に作れる1品なので是非ご家庭でも試してみてください！



春野菜の卵の花

【材料（2人分）】

- しょうが … 1片(15g)千切り
- ネギ … 1/5本(30g)小口切り
- にんじん … 1/5本(30g)千切り
- ゆでタケノコ … 20g
(食べやすい大きさにスライス)
- おから … 50g
- 塩 … 少々(小さじ1/10)
- サラダ油 … 小さじ1

【作り方】

- ①フライパンに油を入れ、しょうがとネギを炒めます。
- ②火が通ったらにんじん、タケノコを加えます。
- ③しっかり火が通ったらおからを加え、おからがパラパラになるまで炒めましょう。
- ④最後に塩で味付けします。しょうがも好みで追加してください。



◀こちらから動画を
見られます！





人に癒され、庭に癒されるボランティア 旧齋藤家別邸

西大畑町の白壁通りに約 100 年前に建てられた旧齋藤家別邸。数寄屋造りの建物と美しいお庭は四季折々の景色を楽しむことができ、年間約 35,000 人が来館しています。1.2 階の大広間からパノラマで見える絶景のお庭は今新緑が映え、ツツジがこれから見頃を迎えます。そして施設の魅力度アップに欠かせないのがボランティアの存在です。

来館者に説明・案内をするガイドボランティアの藤田さんは「退職後に受講した講座で庭園を見る楽しさを味わったことがきっかけではじめました」といいます。コロナ禍で活動を休止した期間もありましたが、現在は再開したことでボランティアのみなさんはお客様を迎えられる喜びを感じているそうです。海外からの来館者が多くなってきたことから、活動休止期間にボランティア向けに英語でガイドをする勉強会を行い、現在約 10 名が対応しています。その中のおひとり江端さんは「言葉だけでなく国の歴史も常識として知っておくことも必要となるので、慎重にやること」を心掛けています。「アジアの人には縁起物として鶴・亀は共通の話ができる」「各国によって説明や反応も違うこと」が早川さんは楽しさのひとつだといいます。また続けていくことで色々な考えが浮かんだひとつが着物でガイドすることです。はじめてみたら着物の模様が説明に役立ち海外の方から喜ばれている他、文化継承のひとつにつながっています。

また、お庭をいつも綺麗にしてくれているボラン

ティアがいるからこそ自分たちも気持ちよく案内できるといっていました。学芸員の久保さんも「景観が保たれているのは庭園ボランティアのみなさんがいるから、ガイドも含め運営していく上では欠かせない存在」となっているそうです。

ボランティア募集は年 1 回、4 月に説明会を開催しています。残念ながら今年度は終了しましたが、活躍しているみなさんの様子をご覧ください、来年度参加してみませんか。



ボランティア 募集情報



ボランティアを募集している施設・団体・企業等のみなさまぜひ情報をお寄せください！



フードバンクにいがた

【活動内容】

寄付品の回収・計量・仕分け、伝票作業 etc.

【活動時間】

月曜日～金曜日の 10:00～17:00

のうち、午前か午後の 3 時間程度

※特に必要な日時

火曜日・金曜日 12:00～15:30

【活動場所】

フードバンクにいがた 及び 各回収拠点

【ボランティア希望数】

各日、2 名程度

【お問合せ・申し込み先】

フードバンクにいがた

担当：眞木（平日 10:00～17:00）

〒950-0907 新潟市中央区幸町 7-16 KR ビル 1 階

TEL: 025-282-7374 FAX: 025-282-7334



新潟県立図書館

【活動内容】

①こども図書室ボランティア…子どもたちの見守りと書棚の整理

②フロアワークボランティア…返却本を書棚に戻す作業

③公開書庫ボランティア…書庫内の案内や書棚の整理

④ガーデンボランティア…敷地内のガーデニングや整備

【活動日時】

活動内容により異なります

【募集対象】

18 歳以上で図書館活動の意義や図書館の利用ルールに理解のある人

※事前研修・簡単な面接あり

※ボランティア保険加入（年間 350 円）

【お問合せ・申し込み先】

新潟県立図書館

業務第 1 課 ボランティア係

〒950-8602 新潟市中央区女池南 3-1-2

TEL: 025-284-6001 FAX: 025-284-6832



中央区ボランティア・市民活動センター

〒951-8062

新潟市中央区西堀前通 6 番町 909 Co-C.G.ビル 3 階

Tel: 025-210-8730 Fax: 025-210-8722

Mail: va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

※お車でお越しの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡しします。

【開所時間】 月曜日～金曜日 8:30～17:15（土・日・祝、年末年始を除く）



ボランティアのつどい

Nanmo

毎月第 1 金曜日

14:00～15:30

開催場所が
中央区社協 交流スペース
になりました！